

JASWHS 公益社団法人 日本医療社会福祉協会
Japanese Association of Social Workers in Health Services

東日本大震災 MSW災害支援ニュース



群馬県碓氷峠のめがね橋

目 次

- 1 . 災害対策本部からのお知らせ
- 2 . 現地活動報告
- 3 . 現地・事務所協力員の感想文

災害対策本部からのお知らせ

現地・事務所協力員募集！！

引き続き、現地・事務所協力員を募集しています。
現地は、3/14以降（3/24・25を除く）の人員が不足しています。
「今さら参加してもいいのかな」と迷っている方いませんか？
遅すぎることはありません。まさに「今」必要とされています！
初めての方もぜひご協力をお願いいたします。

災害対策本部会議について

3月2日(金)、本部のメンバーで今後の方針等を話し合いました。
次号に議事録を掲載させていただきます。

経費の精算について

今年度、現地や災害対策本部事務所の活動にご参加下さった皆様、交通費など経費の精算はお済みですか？

年度をまたくと支給できませんので、お済みでない方は、至急、手続きをお願いいたします！
所定の用紙（*）にご記入いただき、領収証・レシートを添付の上、下記までご郵送下さい。

（*）http://www.jaswhs.or.jp/upload/Img_Doc/11_Img_Doc.doc

〒162-0065 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷ヂンゴビル 2F
日本医療社会福祉協会 中川宛

災害支援 SW 報告会について

次回は大阪協会と開催します！！

これまで東京の協会事務所で開催してきた報告会ですが、今後は全国の皆様にご参加いただけるよう、東京以外の会場で開催していくことを考えております。

その第一弾として、下記日程で大阪医療ソーシャルワーカー協会とジョイントで開催することになりました。

日時：3月13日(火) 19:00～

場所：大阪医療ソーシャルワーカー協会事務所（大阪府社会福祉会館1階）

会員資格は問いません。

これまで参加が難しかった、関西近郊の方、ぜひご参加下さい！

所定の用紙（*）にご記入の上、大阪医療ソーシャルワーカー協会事務所へ FAX にてお申し込み下さい。

（*）http://www.jaswhs.or.jp/upload/EJBE_0siraase_PDF/18_EJBE_0siraase_PDF.pdf

所定の用紙は41号の災害支援ニュースにも掲載されています。

Facebook でも情報をお伝えしています！

この度、災害対策本部の Facebook ページができ、およそ 2 日に 1 回の頻度で、現地や災害対策本部の日々の様子をお伝えしています。

Facebook のアカウントをお持ちでない方もご覧いただけます。

お持ちの方は、「いいね！」やコメントを寄せていただけるとうれしいです。

-Facebook URL-

<http://ja-jp.facebook.com/pages/公社日本医療社会福祉協会-災害対策本部/156327867812970>

Google や Yahoo! で「日本医療社会福祉協会 災害対策本部 Facebook」で検索し、ご覧頂くこともできます。また協会ホームページ内にもリンクを作成しました。

他団体研修情報

(1) ソーシャルケアサービス従事者研究協議会シンポジウム

3.11 東日本大震災に学び、復興支援を考える集い

～災害とソーシャルケア 被災者の目線から支援の方法を考える～

日時 3月25日(日) 10:00～17:00
午前 基調報告、各団体活動報告
午後 シンポジウム

会場 文京学院大学 本郷キャンパス 東京都文京区向岡 1-19-1

詳しくは、協会ホームページの「他団体研修情報」をご覧ください。
災害支援活動のページの「新着情報」にも掲載しています。



現地支援活動報告

原 一正（群馬県 総合太田病院）

期間：2月10日～2月12日

3日間という短い時間でしたが、ボランティア活動に参加させて頂きました。ボランティア活動をさせて頂いたというより、普段では学ぶことのできない多くの経験をさせて頂いた3日間でした。実際に、ボランティア活動を通じて被災した方々の生の声を聞き、ボランティア団体の会議やイベントに参加することによって、現地の抱えている様々な問題や課題を知ることができました。これはメディアからは知ることのできないことであり、実際に被災地を目の当たりにした人でないと理解できないことではないでしょうか。

小さな漁村などは壊滅し、廃棄物の積み上げられた山の中の道を上って行くと、その奥の山間に仮設住宅がありました。どのような生活をされているかは想像がつかませんし、その光景からは復興という言葉は出てきません。そんな現実がある一方で、たまたま電話をさせて頂いた被災者の中に民生委員の方がおられました。その方のお話では、地域内で高齢者や障害者の方々を把握しており、助け合っているということをお話されていました。

厳しい光景が広がる一方で、見えないところで温かい活動が行われています。ソーシャルワーカーの出来ることは小さなことですが、今後も何らかの形で被災地の復興に協力していきたいと考えています。関心があれば、必ず行って下さい。良い経験になります。

現地支援活動報告

太田 多佳子（愛媛県 松山ベテル病院）

期間：2月13日～2月17日

仮設住宅は、地元被災者の方々だけではなく、離島や遠方から入居されておられる方々もいらっしゃいます。お茶っ子サロンでは、これまでにご自分達が暮らしてこられた土地のこと、生活文化、家族…。皆さんお一人お一人に、これまで生きてこられたストーリーがあって、それらを皆で持ち寄り、お互いの生き方を尊重し、分かち合い、癒し、成長し、今という現実を受け入れていく過程を教わる場となりました。毎日皆がそれぞれに成長し合える場であるのだと実感しました。

在宅避難者の方々、それを支える地元の地域保健医療福祉関係の皆さんも被災者の方々です。「時々サポートしながら、自分自身も被災者なんだけどな。と思うと、しんどくなることもあります」という生の声も聞かせて頂きました。今私達がSWとしてできること。そのしんどさをシェアし、少しでもエンパワーメントすること。地域の方々と共に、生活実態を把握し、孤独死を防ぐこと。人間力によって人間、そして生活をサポートすることを今こそ実践しなければと思いました。

私達が石巻に行くことが、現地の生活を支えることに繋がります。被災地に出向き、共に痛みを分かち合い、現地の産物を食べ、共に暮らす。一人でも多くの方々の声を聞き、必要な機関に繋ぐ。被災者が一人きりとならない環境を作り出す力は、SWにこそ求められていると感じます。

現地支援活動報告

川上 尚子（京都府 いわくら病院）

期間：2月23日～2月27日

活動中は、仮設住宅で行われている茶話会とうたごえ喫茶に参加させていただいたり、自宅で生活されている方のうちアセスメント訪問調査によってソーシャルワーカーにフォロー依頼があった方について電話連絡をさせていただいたりしました。突然の電話連絡にも関わらず、ほとんどの方が「ありがたい」と感謝の意を述べられ、現在の世帯の状況をたくさん話して下さったことには、とても驚きました。このネットワークによる訪問調査が非常に丁寧で被災した方に寄り添ったものであったことが伺えました。そして、震災直後から継続して、あるいは短期間であっても絶やさずに活動した1人1人のリレーがあったからこそのことなのだと改めて実感しました。

一方、仮設住宅の茶話会では、辛い震災体験の話に加え、今後に関する不安・不満の話も多く聞かれました。起こってしまったことは本当に辛く悲しい出来事でしたが、それを出来るだけ小さくするために、出来ることを考えていかなければと思いました。

4日間半という短い期間でしたが、本当に多くのことを学ばせていただきました。遠くからではありますが、これからも石巻での活動を応援するとともに、私がこれから出会う人たちにも何らかの形で生かせるよう、今回の体験をしっかりと自分のものにしていきたいと思います。本当にありがとうございます

現地支援活動報告

藤田 譲（大阪府 白鷺病院）

期間：3月2日～3月4日

今回、大阪から3名でまとまって参加しました。現地責任者として滞在中の武山氏の活動に同行しつつ、移動の合間に、石巻での支援活動の拠点と津波被害を受けた地区を案内していただきました。街の様子には、これまで何度も報道で見ていたので衝撃を受けることはありませんでしたが、津波被害を受けた人の経験を教えてもらうと往時の生活の様子が浮かんで来て心が痛みます。

しかし、生活を再建させていこう、石巻を取り戻そうと頑張っている地元市民、関係者と接していると心から応援したくなってきます。

もちろん、大切な人や仕事や住まいなどを失い、先行きの見えない状況に置かれた方も少なくありません。市街地の再建もこれからです。私たちにできることはささやかかもしれませんが、石巻と関わることのできるご縁に感謝しながら、今しばらく石巻が再建してゆく過程に寄り添いたいと願っています。

「支援」という言葉を考えると、その重みに躊躇ってしまうかもしれませんが、気心の知れた仲間と一緒に心強いです。ほんの少しだけ勇気を出して、ソーシャルワークの原点を探しに行ってみませんか？

現地感想文

2月27日(月)

活動の輪が広がっています。地元の方が自らの力で、復興をめざしていくために、側面援助を考えると、楽しいこと大変なことともに、伴走者が必要です。

見えない支援があれこれです。

2月28日(火)

本日も雪は溶けず、冷え込みました！めげずに訪問、大きな成果もありました。

新しいポスター作製、仮設掲示板廻り、ポスティングをします。

「孤立化の防止」です。

2月29日(水)

雪のちらつく一日でしたが、果敢な中辻さんが遠出をしてくれました。

未だ、流されたまま、人の戻らぬ海沿いの雄勝の浜の集落、女川の立派な3階建仮設に、北上の様子に、石巻の被害を改めて実感してきたようです。私たちの仕事は、きりなくあります。

3月1日(木)

朝の光は確実に春です！あたたかい1日で、大阪の皆さんを迎えようと、中辻さんと大掃除をしました。

窓を開け放し、光をいっぱいに入れ、ベランダの雪解け水を洗いし・・・。

午後は、北上川沿いを歩き、専修大学ボランティア会議に参加しました。夜は...まだ寒かったです。

3月2日(金)

大阪の皆さまは、仙台上空まで来ながら霧で伊丹に引返し・・・また夜行、新幹線乗り継いで・・・の長旅で、たどり着かれました！

迎えたのは雪空と吹雪！河南支所も遊楽館も雪景色でした。夜は、怖々の暗い雪道、ご苦労様でした。

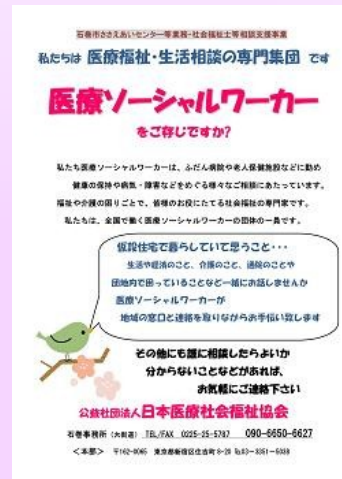
3月4日(日)

活動の様子をビデオ撮影しました。なかなか網羅するのは難しく、専属でカメラを回す人が必要です。

宮城版ラジオ体操「おらほが体操」のCDを買いました。普及したい楽しさです。

松井理事が3日間かけて活動を見て下さいました。あらためて理解できたと言われる現地での活動内容もあり、いろいろご案内、説明させて頂きました。各理事にも、おいでいただきたいと思っています。

おいしい支援・体験もありますし・・・。



事務所感想文

2月27日(月)

東(初台リハビリテーション病院)

今日は日報のホームページアップに初めて挑戦しました。マニュアルがしっかりとしていたので、私のような機械オンチも平気でした。パソコン苦手な人も、事務ボラ OK ですよ！！

2月29日(水)

市川(初台リハビリテーション病院)

久々のボランティアでしたが、マニュアルもとても分かりやすく整理されていて安心して取り組みました。

3月3日(土)

清水(初台リハビリテーション病院)

一日のやること！が、整理されていて、分かりやすくなっていました。一つずつ確認しながらやっていたら、時間があっという間に経ってしまいました！